

本日10月2日、「考える会」が申し入れ

マンモス校復活で本格的な統廃合は許されない



県立高校の統廃合を考える会は、10月1日の県教育委員会の高校統廃合案の可決を受けて、本日、河原教育長と嘉田知事に次の申し入れを行います。

県立高校再編計画案に関する 申し入れ(抜粋)

昨日(10月1日)、臨時教育委員会は「滋賀県立高等学校再編基本計画案」と「同実施計画案」を決定しました。次のような特徴を持っています。

長浜高に8学級、彦翔陽に9学級

自ら決めた適正規模を捨て本格的な統廃合へ

第1に、自らが示した学校の適正規模(1学年6～8学級)を無視してまで、統廃合計画原案の根幹部分の実施に固執し、今後の全面的な統廃合計画に道を開いていることです。

長浜北高校を廃校にして1学年8学級の学校として長浜高校と統合するとしていますが、1学年8学級は「適正規模」の上限です。新校は「大学進学を重点に置く普通科単独校」として長浜高校の福祉学科を廃止します。また、長浜高校の敷地内にある高等養護学校を長浜北星高校に移転します。統廃合のためなら他を犠牲にしても構わないという姿勢です。

彦根西高校を廃校にし、1学年9学級として彦根翔陽高校と統合するとしていますが、これは、適正規模の上限すら突破しています。少人数授業で多くの講座を開設する総合学科を9学級規模で運営するこ

とは、不可能に近いといえます。

彦西の「学びの共同体」も長浜の福祉学科も消すことに 道理なし

第2に、1つ1つ積み上げてきた教育上の成果や教育体制を顧みずに、いとも簡単にひっくり返していることです。3年間の実践を終えて、県内外で注目され、県教育委員会も評価する彦根西高校の「学びの共同体」のとりにくみと教育体制が、新たな学校で立ち消えになることは目に見えています。これまで、長浜高校の福祉学科では、教職員の相当の努力もあり生徒全員が介護福祉士の国家免許を取得するなど、全国的にも希な教育効果を上げています。この学科の廃止は、再編の基本理念である「生徒のニーズに応える魅力ある学校づくり」からも外れた行為です。教職員の意欲的で創造的なとりにくみを事実上、切る捨てる県教育委員会と県行政の姿勢に教育的な道理はありません。

県民の疑問に答えないまま突っ走る

第3に、県民から出されてきた疑問や意見を顧みず、統廃合ありきで突っ走っていることです。ここ10年間程度子どもの数は減らない。統廃合によっ

て高校生一人に使う県のお金は全国最下位になる。

大規模校でこそ教育効果が上がる根拠はどこにあるのかなどです。

一部 地域住民の声も届く 信楽高校は本校として存続

第4に、いくつかの点では地域住民 県民の声が届き反映しています。分校化が確実視されていた信楽高校は本校として存続し、長浜北星高校の定時制は総合学科として続きます。

私たちは、県教委と知事に、教育の道理に立って次のこと実施するように要求します。

長浜北高校や彦根西高校の廃校など再編案の中心である統廃合部分を撤回し、学校の適正規模の見直しや35人学級なども視野に入れて、再編計画全体を見直すこと。新能登川高校の総合単位制についても開かれた討論をすすめること。

県民から提起されている疑問や意見に真摯に応えること。私たちの公開質問状に文書で答えること。

県民説明会を上からの説明ではなく県民討論会に組み替えて実施すること。

2012年10月2日 県立高校の統廃合を考える会

高校統廃合するな！県庁包囲デモへ

10月4日、12時 県庁前に集合

ストップ高校統廃合速報 2012年度第20号

2012/10/2 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

(掲示・増し刷り・回覧などで全教職員にお知らせください)